

様式第2号（第10条関係）

## 会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和元年度 第3回佐伯市自殺対策連絡協議会

2 開催日時

令和元年11月20日(木) 13時30分から15時00分

3 開催の場所

佐伯市役所本庁舎6階 第二委員会室

4 出席者

・委員 9人

会長 亀山 伸太

委員 西山 巖

委員 安藤 翔太

委員 染矢 裕紹

委員 樋口 哲平

委員 亀井 直美

委員 清家 和彦

委員 泥谷 幸一

委員 下川 芳夫

・代理出席 4人

・事務局 4人

5 会議の公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題及び結果

・いのちを支える佐伯市自殺対策計画（素案）について

・今後の日程について

8 審議の内容

いのちを支える佐伯市自殺対策計画（素案）について

・「平成34年（2022年度）」などの年号の表記や自殺死亡率の表記が他のページによって異なるので、全体的に表記・表現の統一を行うよう意見があった。

・第4章の高齢者に対する重点施策について、佐伯市の実態は全国に比べて深刻な状

況ではあるが、新規事業の実施ではなく、自殺対策の視点を加え既存事業を実施していく。また今後、事業施策で検討したいとの返答があった。

- ・数値目標について、国は10年で30%減少という事を目標にしており、佐伯市は5年でその半分の15%という目標に設定したため、本計画を確実に実施し、平均死亡率に近づけ、第1期、第2期計画の進捗管理を行うこととした。
- ・ペリネイタルビジットや大分トライアルなどで、小児科、産婦人科、精神科が切れ目のない事業を行っている」と表記してほしいと意見があった。
- ・目標指標について、評価項目について現在は単純に事業名がそのまま記載されているので、指標の形で表現した方が良いと意見があった。
- ・中学生まではグリーンプラザが支援するが、高校生以降はどこがどのように支援するのかと不透明である。自殺予防という観点から、教育の視点、健康増進課からの視点、関係各課からの視点というようにみんなでアプローチして予算を確保してほしいと意見があった。
- ・今後の日程について、報告を行った。

## 9 会議の資料名一覧

- ・(仮)いのちを支える佐伯市自殺対策計画骨子(案)について

## 10 問い合わせ先

担当課 福祉保健部 障がい福祉課 障がい福祉係  
電 話 22-4524